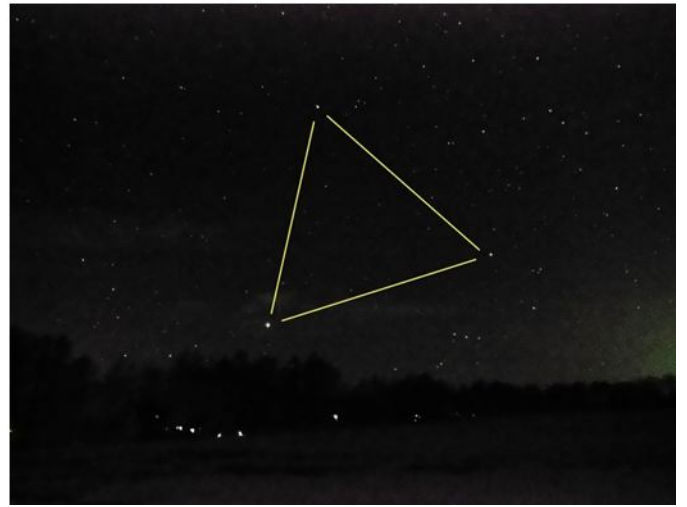
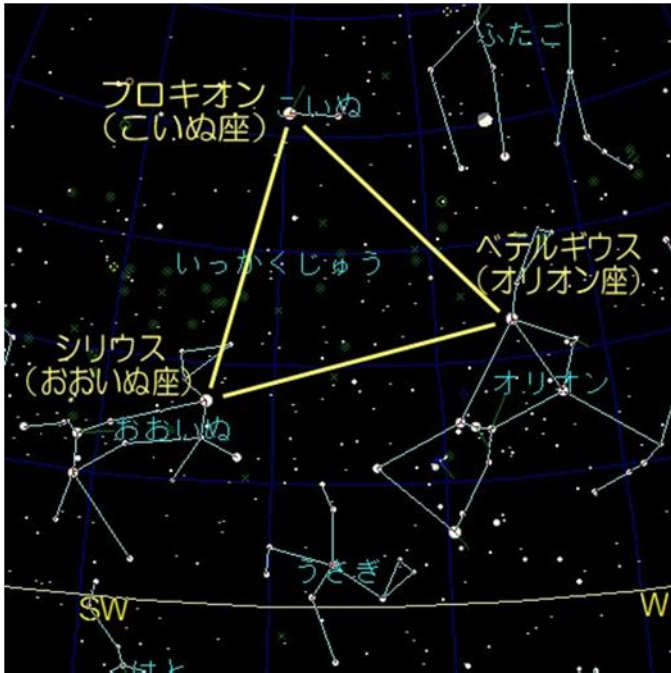


「3つの大三角(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

今の時期、空の条件がいいと、一晩で3つの「大三角」を観望することができる。一つは「冬の大三角」。

冬の星座はすでに西に傾いているが、日付が変わる0時よりも前なら、まだ西の地平線近くに冬の「大三角」が



残っているのが見える。

私は観測現場に行く前に、星図描画ソフトで恒星の位置を計算する。観望・撮影したい天体の天球上での位置をあらかじめ、しっかり記憶しておくのだ。撮影機材も、すべて手さぐりで操作できるように準備しておく。これで、真っ暗な観測地でも、余裕を持って撮影が可能になる。



「沈む冬の 大三角」

2015, -3, 21

23:30

北軽井沢

星図描画ソフトの計算と同じ・・・ということに安心した。